

## 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館



代沢みこころ・葵みこころ保育園の  
4、5歳児の絵が展示されました。  
美術の時間の作品です。

### ふくざわさんとあそびー：コラージュで

Let's Play with Mr. Fukuzawa: Making Collages

#### 福沢一郎の絵で遊べないかな

福沢一郎さんは画家なので描いた「絵」を使って何かできないかなと考えた。幼児と福沢の絵が出会うとどんなことが起こるのか？絵の一部分を使ったコラージュなんかはどうだろう。最初は難しすぎるかと思ったが、実際に試すとすぐに思い過ごしだとわかった。そういう意味では昔（第1会場の子どもの絵を見て下さい）も子どもたちの創造力・創造性はとてつもなく、変わらない。

#### ●代沢みこころ・葵保育園（東京都世田谷区）

茂木が月1でお絵かきを指導している園児たちは7ヶ月経つとちゅうちょなく絵の具を使えるようになってきている。見ているといろいろなイメージや方法で描いている。最初にモチーフを理解・解釈して、「見立てる」子どももいれば、とりあえず塗ってみる子どももいるが、放っておくとドロドロに濁ってしまう。しかし、今回はそうしない子どもも多かった。指定モチーフに適切に / 適当に色を置いていき、一定の形で終了した。そんな子どもたちのアートする姿はとても美人の子どものとは思えない。子どもはつくづくアーティストだった。

#### ●十文字女子大学附属幼稚園（埼玉県新屋市）

今回は幼児造形教育の専門家の宮野周（文教大学）を講師にして、もう少し大人びて共同画もやってみた。協働するお絵かきはイメージによるコミュニケーション学だ。相手と絵での掛け合いが自然に起こっている。個人が社会にどう参加するのか…絵を通して学んでいた。

#### ●甘菜こひつじこども園（群馬県富岡市）

福沢一郎の出身地・富岡のこども園の年長組10名の子どもたちと今回は新しい40cm大の円い立方体5面にコラージュ絵画をやってもらった。電沢の絵の一部の巨やカエルの足から刺激を受けて、3原色（赤、青、黄）が大胆に置かれ、モダンな絵が完成した。立方体なので文字通り多視点の絵画になった。上面に描いた絵が側面を揺るときに見える。絵画の平面性と実際の立体（柱）が混ざり合い、不思議な絵画空間が生まれた。

